ふっさ 広報

七夕まつりキャラクター
「たっけー☆☆」

FUSSA

平成21年(2009年)
9月1日　No. 790

発行/福生市　編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511（市役所代表）
毎月1日・15日発行

ホームページ http://www.city.fussa.tokyo.jp/

今号の主な記事

2面敬老金・敬老記念品を贈呈します　3面保育が必要なときご利用ください　4面レジ袋削減協力店を募集しています
5面福生にゃんにゃんフォーラムを開催します　6面秋のウォーキング大会　7面図書館から休館と特別貸出のお知らせ

10月より住民税（市・都民税）の年金引き落としが始まります

4月1日現在、65歳以上の年金受給者で、平成20年中の年金所得に係る住民税の納税義務のある方が対象です。ただし、福生市の介護保険料が年金から引き落としされていない方や、年金から引き落としされる住民税などの税金や保険料を合わせた額が、老齢年金等の額を超える方などは対象となりませんので、もう一度、お手元の納税通知書をご確認ください。

年金引き落としされるのは･･･

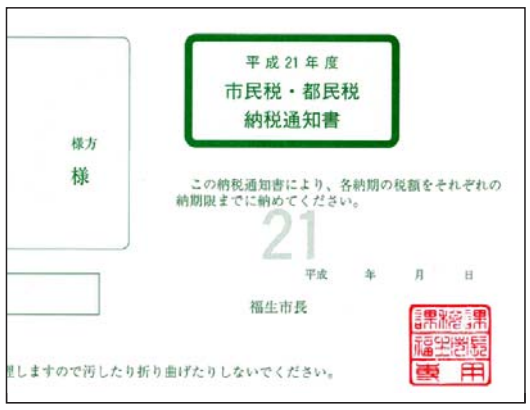
年金所得の金額から計算した住民税のみです。その他の所得がある場合には、住民税の納付方法が異なりますので、ご注意ください。

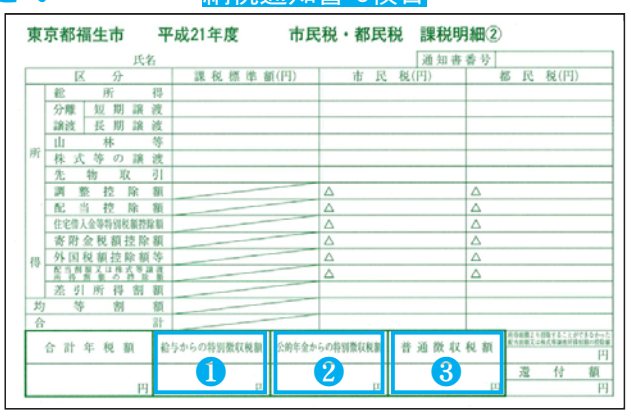
※この制度は、地方税法の改正により納税方法が変更するものであり、新たな税負担が生じるものではありません。

問合せ課税課市民税係☎551・1610

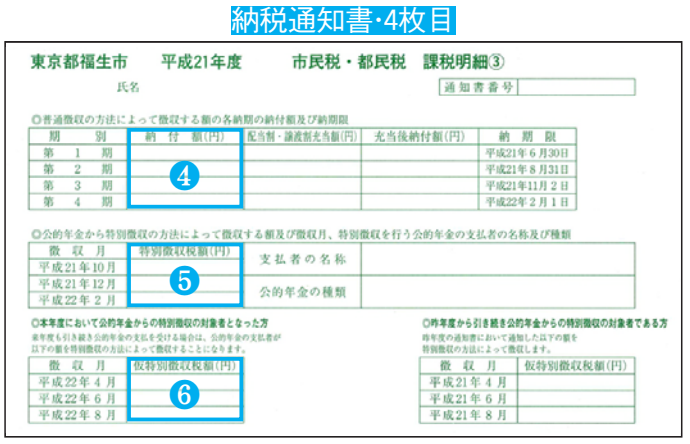
◆納税通知書をご確認ください

納税通知書・3枚目





納税通知書・4枚目



❶給与からの特別徴収税額
給与から引き落としされる給与所得・不動産所得・営業所得・その他所得の住民税額

❷公的年金からの特別徴収税額
年金から引き落としされる年金所得のみの住民税額

❸普通徴収税額
給与や年金から引き落としされない住民税額※納付書で納付する住民税額

❹納付額
給与や年金から引き落としされない住民税の期別ごとの額

❺特別徴収税額
10月・12月・2月に年金から引き落としされる住民税額

❻仮特別徴収税額
21年度に住民税が年金引き落としされた方は、22年度2月の年金引き落とし額を仮徴収額として4月・6月・8月に徴収することになります

ＳＰコードを掲載しています!

目の不自由な方の情報ツールとして開発された二次元シンボル「ＳＰコード」を、紙面に掲載しています。コードは専用の読取装置を使い、記録されている文字情報を音声で聞くことができます。

毎月1日号の奇数面の記事をそれぞれ抜粋してコード化し、触って位置がわかるように半円状の切り込みを入れています。

問合せ秘書広報課広報広聴係☎551・1568

まちの話題

▶今年も「平和のつどい」が開催されました

今回で22回を数える「平和のつどい」が、8月16日(日)に市民会館で開催されました。

「昭和30年代パートⅡ」をテーマに、「七夕まつりの始まりや福生音頭の誕生秘話」・「当時の学校のグランドや福生野球場の様子」・「福生市陸上競技協会設立時の苦労と体育協会との出会い」などについて、あまり知られていないエピソードを交えて講演者からお話しがありました。

話の内容が身近なものであったこともあり、会場からは驚きの声や笑い声が上がるなど、終始和やかな雰囲気で進みました。

後半は「平和のつどい」の企画委員も加わり、講演者の話をきっかけに「座談会」も行なわれました。司会者の呼びかけに、来場者の方も積極的に発言されて会場を盛り上げました。「当時の女性の様子があまり見えてこない」と、次回以降の「平和のつどい」につながるような発言もあり、来場者の方から、「来年はどのような話が聞けるのか楽しみです」との感想が聞かれました。

問合せ総務課法制総務係☎551・1576

全力投球

福生市長　加藤育男

七夕・福生吹奏楽団演奏にて

防災の日に思うこと

昔から戒めに「天災は忘れた頃にやって来る」と言われていたのが、このところの日本列島は、忘れる暇もない程に、地震、竜巻、水害と見舞われ通しの感があります。

この夏も東海地方をはじめとする全国規模での地震や、九州、中国、四国地方が記録的な豪雨に襲われ、多くの貴重な生命と財産が失われました。悲惨なことです。「何十年も住んでいるが、こんなことは初めて」と、被災された方々が口にされていたと聞きます。

地球温暖化の影響からか、天候不順が常になり、自然は時に、想像を超える無慈悲な牙を、私達に向けてきます。昨日までの無事も、今日の安全を保証してはくれません。

新聞のアンケート調査によると昨今、いつになく人々の防災意識が高まっており、そのキーワードが「他人事ではない」だそうです。

市民の皆様には、毎年総合防災訓練にご参加いただいており、積極的なご協力と防災意識の高さに心から感謝しております。どうぞまずはご自身でできるところから、防災に向けての準備をお願いいたします。